

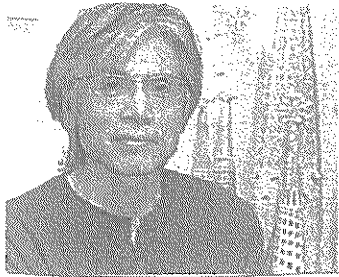


梅中のこと知っとう

その4

令和3年 7月
福岡市立梅林中学校
学校だよりNo.7
文責 校長(尾崎)

○由良さんを知っていますか。



吉田由良さんは芸術的感覚優れる実行力のある人です。「梅香る町プロジェクト」の代表です。「梅香る町プロジェクト」は梅林という町名なのに梅の木がないという話がきっかけとなり「それじゃあ、みんなで町内のいろんなところに梅を植えて梅林を梅香る町にしましょう」ということに意見がまとまり、結成された地域ボランティア団体です。その代表を由良さんが務められています。2016年から始まった梅の木の植樹は現在、由良さん、はじめ地域の人々の努力の結果、梅の広場を中心に118本の梅が校区に根付きました。そして、毎年2月には梅林では梅の花が咲き誇り、すてきな香りを漂わせています。

○梅の広場

福大トンネルの南側に「梅の広場」がある。この場所は国土交通省の土地である。この土地は、雑草が生い茂り、大量のゴミや廃棄物など不法に捨てられ、壁面には大きな落書きがされているたいへん美的にも生活環境が悪い場所でした。その場所が現在5年の歳月を経て、由良さんと地域の人々が国土交通省、福岡県、福岡市と根気強く交渉し、大事に梅の木を植樹し、手入れしている結果、美しい「梅の広場」へと姿を変えたのです。



地域の人々の努力と協力で荒地から「梅の広場」へと生まれ変わりました。

○梅香る梅林中へ・・・梅中の枝垂れ梅と高砂紅梅

梅林中学校には「梅香る町プロジェクト」から贈呈された梅の木（令和元年、しだれ梅4本 令和2年、高砂紅梅8本）が今12本あります。まだ、幼木ですが数年が過ぎ、10年も過ぎれば立派な梅の木に成長していることでしょう。この植樹にも多くの生徒が携わってくれました。

みんなが大人になった頃には梅中にも大きな梅の木が美しい花を咲かせていることでしょう。

